



4月9日にオープンした「いわて花巻空港」の新ターミナルについて、その概要をご紹介します。

1 はじめに

いわて花巻空港は、

- ①冬期の安全性、就航率の向上※¹
- ②ターミナル※²のサービス向上
- ③国際チャーター便の運航拡大※³

の3つの目的で平成 10 年度から段階的に整備を行ってきました。

- ※1・・・平成 17 年3月に滑走路を 2,000m から 2,500m に延長
- ※2・・・エプロン、誘導路、駐車場は県で整備
旅客ターミナルビル、貨物ターミナルビルは岩手県空港ターミナルビル(株)で整備
- ※3・・・大型機が就航できるように平成 21 年度から平行誘導路の整備を再開

2 新ターミナルの特徴

■ ユニバーサルデザインへの対応

ターミナルビルや駐車場は、高齢者や障がい者の方など、どなたでも快適に利用できます。

新ターミナルの整備にあたっては、花巻空港新ターミナルビル建設等協議会（座長：河川港湾担当技監）を平成 19 年度に立ち上げ、より使いやすい施設となるよう取り組みました。特に、ユニバーサルデザインに特化したワークショップを計6回開催し、障がい者の方々からの様々なご意見を整備に反映しました。



ワークショップの様子



到着手荷物受取所(国際線と国内線の分離)

国際線

国内線

■ 国際線施設の整備

国際線と国内線との動線分離、広い待合室や税関等入出国手続き施設の整備により、安全で快適に海外へ出発することができます。

■ 駐車場の整備

年末年始や夏休みなどの利用者が多い時でも駐車できるように、現在の約2倍の1,150台が駐車できるようにしました。もちろん、今まで通り無料となっています。

■ エプロンの整備

これまでは中型ジェット機までの駐機でしたが、新エプロンは、ボーイング 747 ジャンボ旅客機などの大型ジェット機も駐機することができます。(大型ジェット機の就航は、平行誘導路の整備後になります。)

3 新ターミナルの供用開始セレモニー

■ 一番機歓迎セレモニー



■ いわて花巻空港供用開始式

晴天の下、「鹿踊り」を皮切りに供用開始式が開催されました。達増知事のあいさつ、野間国土交通省東京航空局長、渡辺岩手県議会議長の祝辞に続き、テープカット、くす玉開被を行いました。



4 今後の空港整備について

平成 21 年度から、いわて花巻空港の最後のステップである平行誘導路の整備再開を予定しており、完成後は、世界文化遺産登録予定の平泉を訪れる人々などをのせた大型ジェット機が就航できるようになります。今後とも早期供用開始を目指して整備を推進してまいります。

